



# 布土小だより



平成28年度 第22号

3月10日

布土小・四つの約束

## あの日から6年

布土小学校長 竹内 弘実

2011年(平成23年)3月11日、午後2時45分。その日は金曜日で、今まさに低学年の児童が帰ろうとしていました。私は豊浜小学校で教頭をしていて、スクールバスに乗る児童の確認や低学年児童の見送りで校舎の外にいました。「何だろう。めまいのような、何か変だな。」と思いながら校舎の中へ入ると、職員室にいた教員から、「地震のようだ。まだ揺れている。」との声が上がりました。テレビのスイッチを付けると、まさしく大地震の発生に、緊張したアナウンサーの声が連呼されていました。まだその時は何が起こったのかよく分からず、ボーッとテレビのニュースを見たり聞いたりしているだけでした。大きな悲劇が襲ったのは、その30分後ぐらいからでした。見たこともない津波の映像が流れてきて、日本中を震撼させました。



今の6年生が保育園の年長さんの時のことです。あの3月11日に生まれた子どもたちも、この4月から小学1年生です。時のたつのは早いものです。しかし、私たちは、あの映像や人々の声を昨日のことにように覚えています。あの日のことを、亡くなった多くの尊い命を私たちは忘れません。そして、これから小学校に入学してくる子どもたちにも東日本大震災のことを伝え、自分の命は自分で守る、他の人のことも考えながら皆で生き延びていくことができる子どもたちを育てていきたいと思っています。

## <キャリア教育・6年生>

### \* 布土から宇宙を目指す「藤銀」さん 2月14日

2月14日(火)の5時間目、昨年度、一昨年度とお世話になっている布土精肉「藤銀」さんから「宇宙食カレー」開発のお話をうかがいました。本当に、夢をもって、その夢の実現に努力し、その夢を熱く語ってくださる、布土精肉の石川さんです。「アイデアを実現するために、具体的に努力し、あきらめずにがんばる」その姿を、子どもたちは石川さんから学んだことでしょう。



### \* パイロット・畠中修さん 3月1日

3月1日(水)の2時間目、航空局交通管制部飛行検査センターの畠中修さんをお招きし、飛行検査の様子や空の魅力についてお話をうかがいました。セントレア空港開設の折には、空路設定のため、最初に着陸されたそうです。現在は、航空路の設定や検査などで、週60時間ほど空を飛んでいる畠中さん、搭乗するときの鞆や各種の航空免許などを児童に見せてくれました。大きな夢を子どもたちに語ってくださいました。



## \* 感謝の会 2月24日

2月24日(金)に児童会主催「感謝の会」が開かれました。日頃お世話になっている、交通指導員の方、布土区・時志区の役員さん、読み聞かせボランティアの方、子ども110番の家の方、子ども見守り隊の方々など46名の方にご参加いただきました。そして、感謝の言葉と感謝状・花束を贈呈し、感謝の気持ちを伝えました。その後、布土に関するクイズを行いました。

\*浄仙寺の中にある仏像はどこから持ってきた物でしょう。

(1, 布土城 2, 本能寺 3, ディズニーランド)

なかなか学問的な問題でした。地域の皆様、本当にありがとうございました。



## < 学校公開日 3月2日 >

3学期は、防災講演会等で授業参観がなくなってしまったため、3月2日(木)の2, 3時間目を学校公開しました。突然のお知らせでしたが、多くの保護者の方に来ていただきました。保護者の皆さん、寒い中、ありがとうございました。4時間目からの「6年感謝の会」、5時間目の「6年生を送る会」と、盛りだくさんな1日になりました。



## \* 6年・感謝の会

6年生が家の方を招いて「6年・感謝の会」を開きました。2, 3時間目に会食のおにぎりやフレンチトーストの準備をし、4時間目から給食の時間にかけて行いました。進行や内容も自分たちで考え、各班の出し物も工夫しました。心和睦会になりました。ご家族の皆さん、ありがとうございました。



## \* 6年生を送る会

5時間目は「6年生を送る会」でした。各学年が趣向を凝らした出し物で、6年生を楽しませました。この会の準備を中心となって進めてきた5年生の頼もしさも感じられました。現児童会長山田悠貴君から次期児童会長伊藤舞南さんへ、校旗が引き継がれました。最後に在校生からは「ビリーブ」を、6年生からは、林先生作詞作曲の「ホワイトシャイニングロード」を歌って、会を締めくくりました。

